



高浜 虚子 (たかはま きよし)

1874-1959

愛媛県松山市生まれ。本名、清。

正岡子規に師事。俳句雑誌『ホトトギス』を編集。

俳句は客観写生にもとづく花鳥諷詠の詩であると主張し、
定型の制約の中に新しみを求めた。

～図書館の開館時間～

開館時間 日曜日～木曜日 10:00～18:00
金曜日 10:00～20:00
土曜日 10:00～19:00

休館日 毎月第1・3水曜日 (祝日の場合は翌日)
文庫交換日 6月12日 (水)
※5月1日 (水祝) は開館
5月7日 (火) 休館します

大野城まどかぴあ図書館

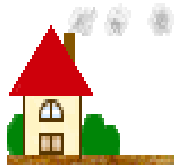
10代のための図書館情報誌

第35号
2019春号

わいわいぱらら



まどかぴあ図書館には、10代の方に読んでもらいたい本を集めたYAコーナーがあります。



おすすめの本



『春期限定いちごタルト事件』

米澤 穂信／著 （東京創元社）〔YA/F/ヨネ〕

中学生のときにあった出来事から、高校では小市民として自立せず慎ましく生きることを決めた小嶋君と小佐内さん。彼らはお互いが困った時に助け合う〈互惠関係〉を結び、平和な高校生活を送ろうとしていた。しかし、二人には様々な「謎」が立ちはだかる。目立ちたくないのに、謎解きの披露を迫られる小嶋君、ある謎がきっかけで本性が出始める小佐内さん。二人は目標とする小市民になれるのだろうか。



『ガラスの封筒と海と』

アレックス・シアラー／著 （求龍堂）
〔YA/933.7/シ〕

トムは自分が海へ流した手紙の返事を待っていた。いつ、どこの国のどんな人が返事をくれるのか想像しながら待っているが、返事は来ない。誰にも拾われず、海を漂い続けていることも考えたが、返事が来て欲しいという思いから日に日に苛立ちを募らせていた。返事を諦めようとしていたとき、手紙が入った瓶を見つける。その手紙はトムに宛てたものだったが、送られてくるはずのないところから届いたもので…。

オモテとウラ



『ウンダーカンマー ここは魅惑の博物館』

榎崎 茜／著 （理論社）〔YA/カシ〕

抽選に外れ、望んでもいなかった自然博物館に職場体験に行くことになった5人の中学生。メンバーも微妙だし、博物館の仕事内容も想像がつかない。それなのに館内では5人別々の仕事を命じられ、どんな意味があるのかよく分からないまま取り組む。けれども、不思議な仕事に真剣に取り組む、ちょっと変わったそれぞれの担当職員との経験を通して、5人は自分自身を見つめ直すことに。ウンダーカンマー＝魅惑の宝庫という意味。

『ミルク日記』

チーム・ミルクジャパン／著 （ポプラ社）
〔YA/648.1/ミ〕

みなさんは学校の給食に出てくるミルク（牛乳）のことをどれくらい知っていますか？この本ではミルクが入ったコップの精・ミルクコップがミルクについて色んなことを教えてくれます。ミルクの効能や季節に合わせた飲み物・食べ物のレシピ、お悩み相談室まで、ミルクの魅力がたっぷり詰まっています。読めばミルクの力で元気になること間違いなし！？さらに詳しく書かれた姉妹編に『ミルク世紀』もあります。

